

# 2010年3月期 第2四半期決算説明会

**井関農機株式会社**

**社長 蒲生 誠一郎**

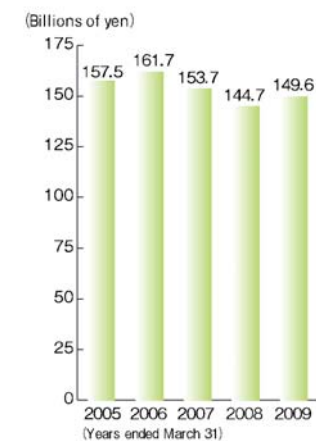
**2009年11月20日**

# 目次

1. 2010年3月期 第2四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2010年3月期 通期業績予想
4. トピックス

# 1. 2010年3月期 第2四半期業績の概要

Net Sales



# 第2四半期業績の概要 (6ヶ月累計)

(単位：億円、%)

科 目	08/3期 2Q		09/3期 2Q		10/3期 2Q		前年 同期比 増減	10/3期 2Q <small>8/13公表</small>	計画比 増減
				比率		比率			
売上高	712	770	100.0		697	100.0	△73	695	+ 2
(国内)	618	646	83.8		618	88.6	△28	615	+ 3
(海外)	94	124	16.1		79	11.4	△45	80	△ 1
売上総利益	217	234	30.3		235	33.7	+ 1	230	+ 5
販管費	220	222	28.8		210	30.1	△12	214	△ 4
営業利益	△ 3	12	1.6		25	3.6	+13	16	+ 9
経常利益	△ 4	11	1.5		22	3.2	+11	13	+ 9
四半期純利益	△22	7	0.9		16	2.3	+ 9	8	+ 8

\*国内販売会社・井関農機（常州）有限公司 他 累計：1～6月

\*単体・海外事業・製造所 他 累計：4～9月

# 国内売上高の内訳 (6ヶ月累計)

(単位：億円)

	08/3期	09/3期	10/3期	前年 同期比		10/3期 2Q 8/13公表	計画比 増減
	2Q	2Q	2Q	増減	備考		
整地機	164	170	161	△ 9	トラクタ : △10	154	+ 7
栽培機	74	88	82	△ 6	田植機 : △ 5	82	-
収穫調製機	67	73	69	△ 4	コンバイン : △ 5	66	+ 3
<b>農業機械計</b>	<b>305</b>	<b>331</b>	<b>312</b>	<b>△19</b>		<b>302</b>	<b>+10</b>
作業機・部品	145	154	154	-		157	△ 3
施設工事	18	17	18	+ 1		18	-
農機関連 <sup>(*1)</sup>	97	97	93	△ 4		97	△ 4
その他 <sup>(*2)</sup>	53	47	41	△ 6	関連会社株式譲渡	41	-
<b>合計</b>	<b>618</b>	<b>646</b>	<b>618</b>	<b>△28</b>		<b>615</b>	<b>+ 3</b>

\*1 修理収入、農業用資材等

\*2 コイン精米収入等

# 海外売上高の内訳 (6ヶ月累計)

(単位：億円)

	08/3期 2Q	09/3期 2Q	10/3期 2Q	前年 同期比 増減	備 考	10/3期 2Q 8/13公表	計画比 増減
北 米	25	45	16	△29	景気後退による市場低迷	15	+ 1
欧 州	46	44	24	△20	景気後退による市場低迷	23	+ 1
アジア (内、中国) *	14 ( 7)	17 ( 10)	28 ( 23)	+11 (+13)	農政の後押しによる市場拡大	32 ( 25)	△ 4 (△ 2)
オセアニア	2	6	1	△ 5		1	-
製品 計	87	112	69	△43		71	△ 2
部品その他	7	12	10	△ 2		9	+ 1
合 計	94	124	79	△45		80	△ 1

\* 中国の売上は1～6月の実績

# 営業利益 (6ヶ月累計)

(単位：億円、%)

科 目	08/3期 2Q	09/3期 2Q		10/3期 2Q		前年 同期比 増減	10/3期 2Q 計画	計画比 増減
			比率		比率			
売上高	712	770	100.0	697	100.0	△73	695	+ 2
売上原価	495	536	69.6	462	66.3	△74	465	△ 3
売上総利益	217	234	30.4	235	33.7	+ 1	230	+ 5
販管費	220	222	28.8	210	30.1	△12	214	△ 4
営業利益	△ 3	12	1.6	25	3.6	+13	16	+ 9

※前年同期比

[減益要因]	・ 減収による粗利減	: △22
	・ 為替レート差	: △ 4
[増益要因]	・ 製品価格値上げによる採算改善	: +16
	・ 在庫評価法の変更による影響	: + 4
	・ 原材料価格の値下り (コストダウン)	: + 3
	・ 棚卸資産評価基準および評価方法の変更による影響	: + 2
	・ 固定費・経費減少他	: + 2
	・ 販管費 (物流費等)	: +12

# 経常利益、四半期純利益 (6ヶ月累計)

(単位：億円)

	08/3期 2Q	09/3期 2Q	10/3期 2Q	前年 同期比 増減	10/3期 2Q 計画	計画比 増減
営業利益	△ 3	12	25	+13	16	+ 9
金融収支	△ 6	△ 6	△ 5	+ 1	△ 6	+ 1
その他営業外収支	5	5	2	△ 3	3	△ 1
経常利益	△ 4	11	22	+11	13	+ 9
特別利益	10	2		△ 2		-
特別損失	△16	△ 3	△ 1	+ 2	△ 1	-
税前利益	△10	10	21	+11	12	+ 9
税、税調整額	△ 12	△ 3	△ 5	△ 2	△ 4	△ 1
四半期純利益	△22	7	16	+ 9	8	+ 8

※前年同期比増減要因

[その他営業外収支] 為替差損 : △ 1  
 スクラップ売却益減等 : △ 2



# バランスシート

(単位：億円)

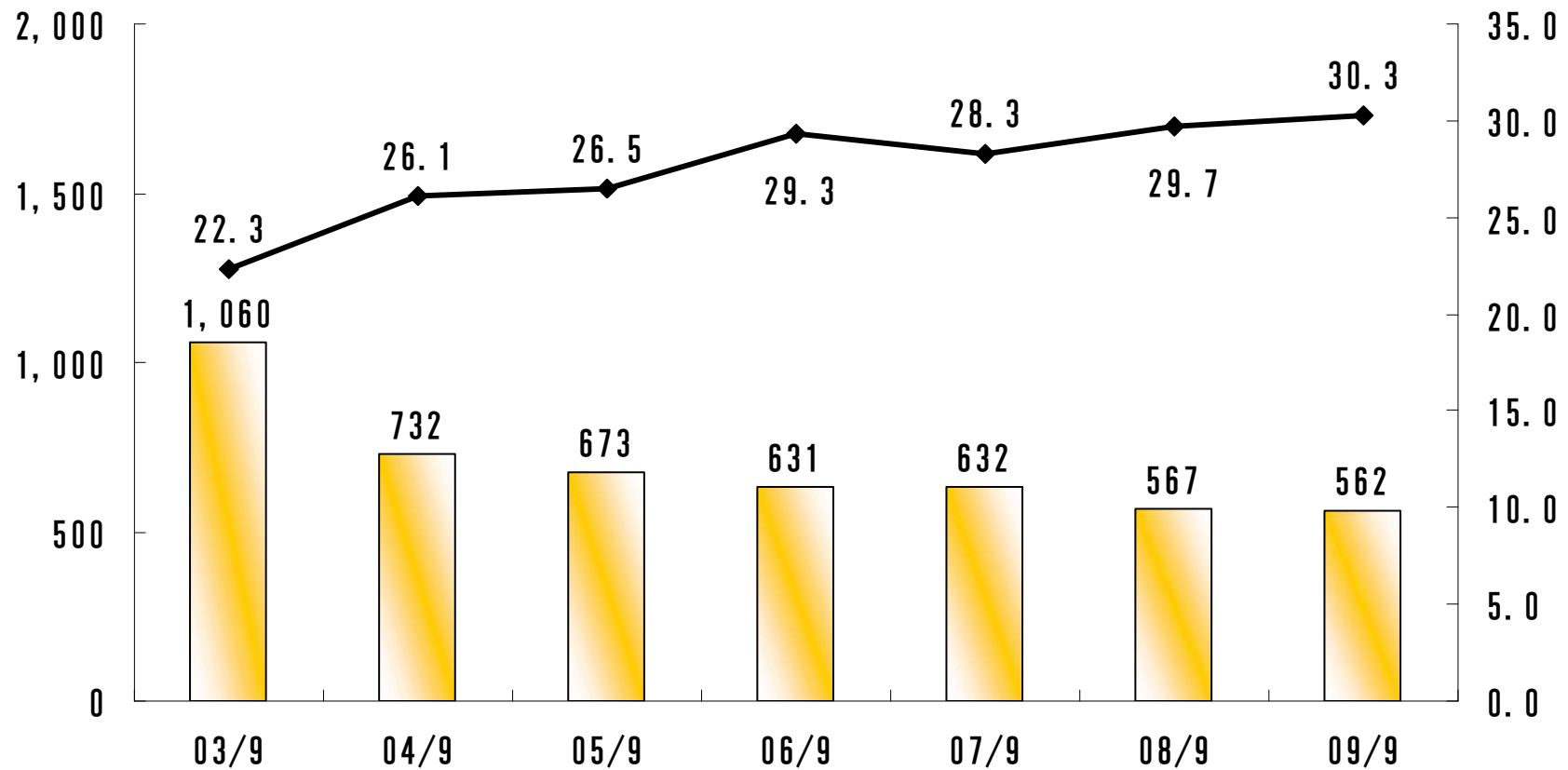
科 目	07/9	08/9	09/9	08/9比 増 減	07/9比 増 減
現金・預金	73	68	103	+35	+30
売掛債権	335	344	290	△54	△45
棚卸資産	452	386	433	+47	△19
(うち製品在庫)	(283)	(228)	(287)	(+59)	(+ 4)
その他流動資産	28	26	24	△ 2	△ 4
固定資産	920	909	903	△ 6	△17
資産合計	1,808	1,733	1,753	+20	△55
支払手形・買掛金	422	418	398	△20	△24
借入金・社債	632	567	562	△ 5	△70
その他負債	227	218	246	+28	+19
(負債計)	(1,281)	(1,203)	(1,206)	(+ 3)	(△75)
純資産	527	530	547	+17	+20
(うち利益剰余金)	(33)	(48)	(57)	(+ 9)	+24
負債・資本合計	1,808	1,733	1,753	+20	△55

# 有利子負債・自己資本比率の推移

【第2四半期における連結有利子負債残高・自己資本比率の推移】

有利子負債残高(割引手形含む)(億円)

自己資本比率(%)



## 2. 国内外市場の動向



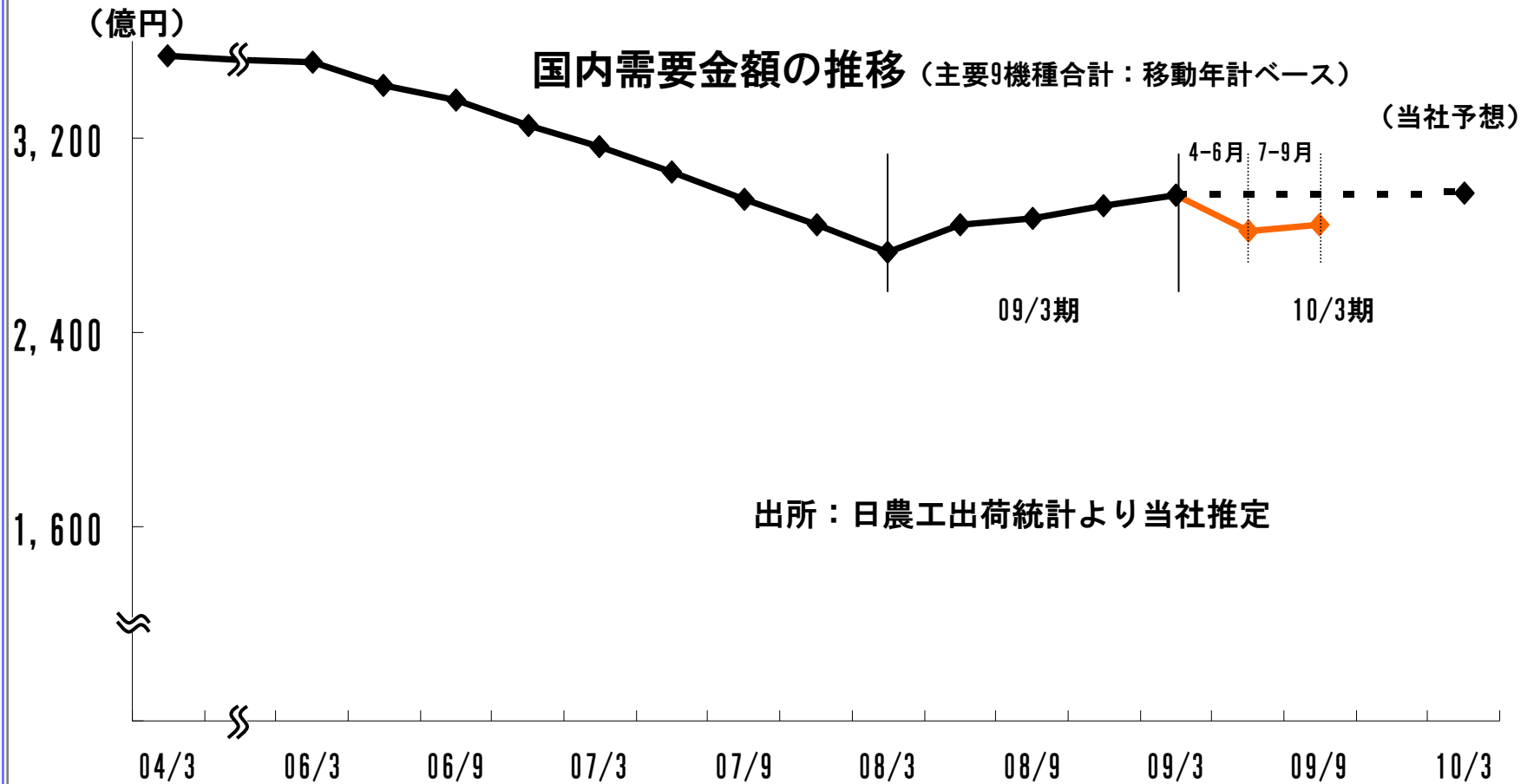
さなえPZV80



中国向けコンバインHF608

# 国内農機需要の推移

## 農機需要の推移（見通し）



# 国内農機市場の状況

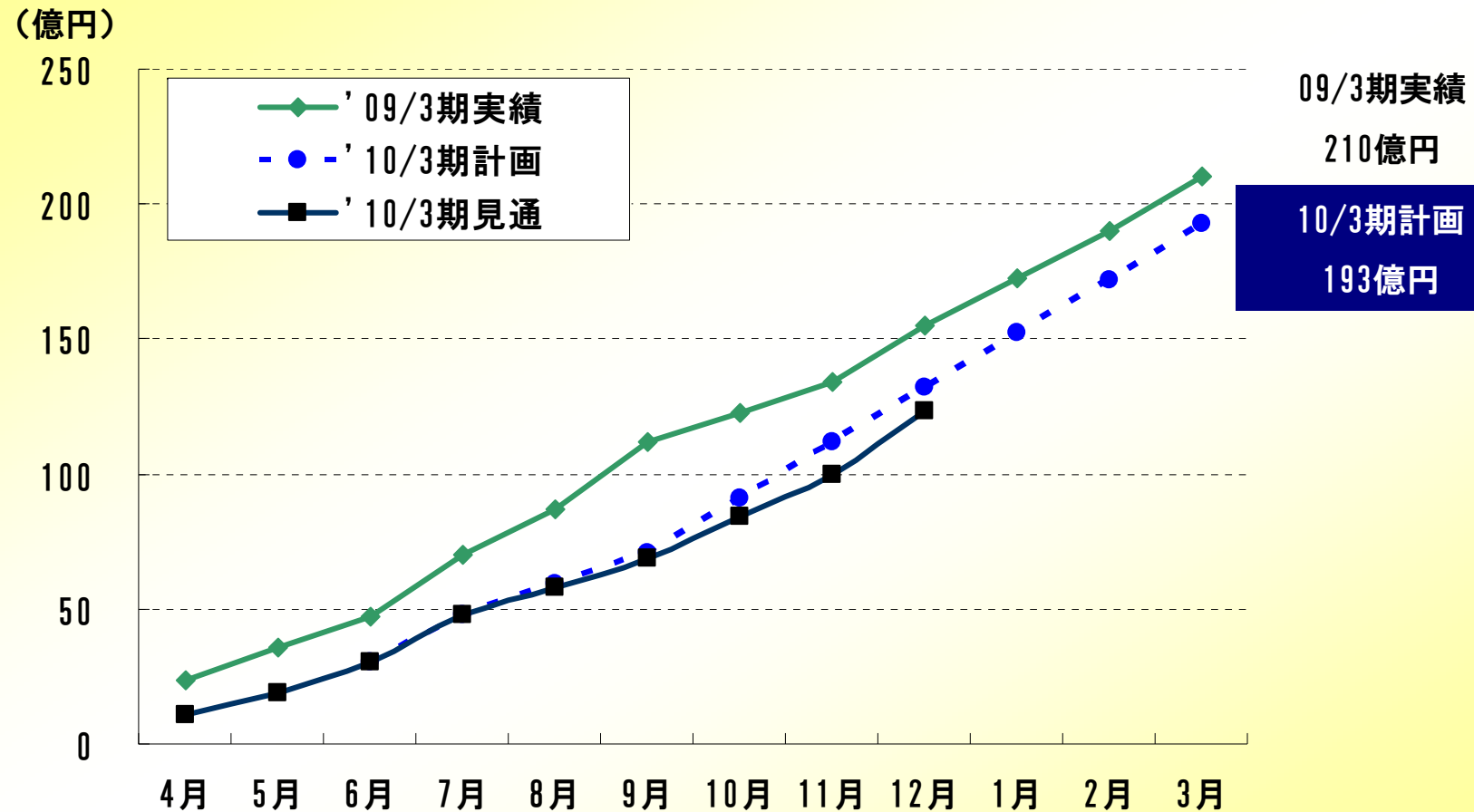
## 1. 国内農機業界出荷と当社実売

※主要9機種金額ベース、前年同期比伸長率（単位：％）      \* 日農工出荷統計より当社推定

	07年 1月～9月	08年 1月～9月	09年 1月～9月	08年10月～ 09年9月
業界（出荷）	89	101	97	99
当社（実売）	87	115	90	90

・ 業界出荷は1～9月対比でやや軟調に推移。

# 海外製品売上の直近の状況



\*10/3期計画 : 8/14公表ベース

\*10/3期見通 : 4月- 9月は実績・10月-12月は受注ベース

# 海外市場の動向（北米）

## 1. 北米コンパクトトラクタ市場

※インジ>50PS (PT040PS) 以下、芝刈機は含まない。

	08/ 1~10月	09/ 1~10月	前年同期比	
			増減	伸長率
米国	90	71	△19	79%
カナダ	13	9	△4	74%
北米計	103	80	△23	78%

(単位：千台)

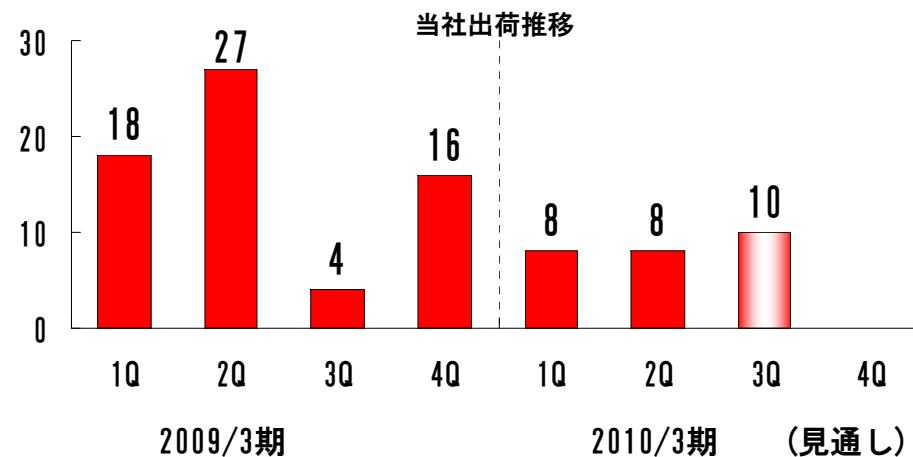
\*計数は四捨五入

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers）

## 2. 当社出荷の推移（北米）

(単位：億円)

- ・ 1~10月市場は、想定以上に後退。
- ・ OEM取引先は、昨年実売を下回るも、市場を上回る実売。
- ・ 今年11月より新型機投入、今後ラインアップ充実により市場競争力の強化を図る。



# 海外市場の動向（欧州）

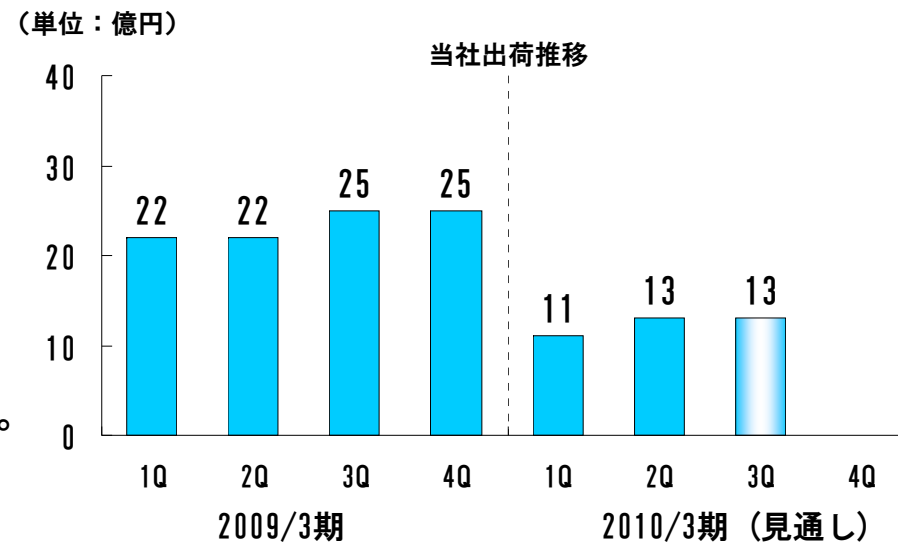
## 1. 欧州市場の動向

### 景観整備市場

- ・ 地域別に格差、景気後退の影響が顕著

## 2. 当社出荷の推移（欧州）

- ・ 代理店は、為替環境の悪化により小売価格を値上げ。
- ・ 欧州代理店の実売、1～9月は前年同期比88%。
- ・ 今後、仏新安全規制対応型SXG15の販売強化により実売の回復を目指す。





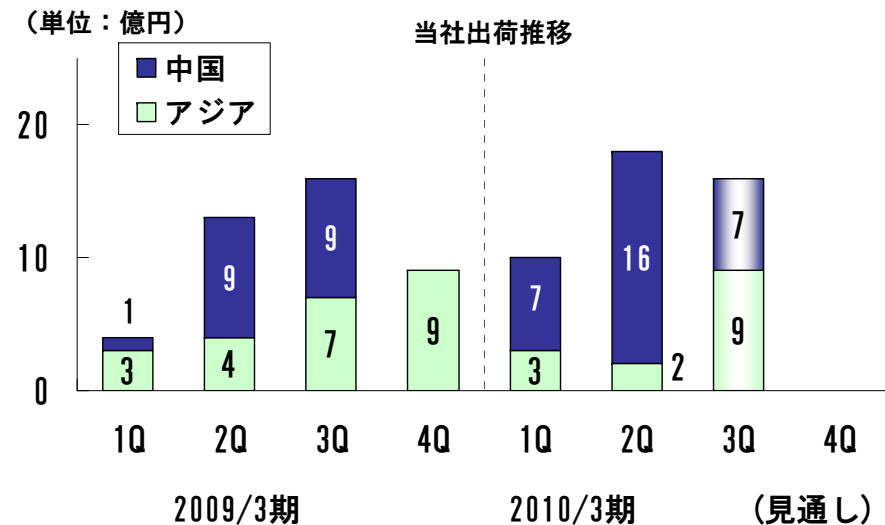
# 海外市場の動向（アジア）

## 1. アジア市場の動向

- ・ 中国 農業機械化政策の強い後押しにより市場拡大
- ・ 東南アジア 台数は限定的だが、稲作増産政策により市場は拡大傾向

## 2. 当社製品売上の推移（アジア）

- ・ 中国 農政の後押しにより市場は拡大。田植機、コンバインとも順調。
- ・ 韓国 ウォン安の影響が響き前年比受注減少。夏以降景気は回復基調、今後に期待。
- ・ 東南アジア 為替環境は厳しいが、ほぼ計画通りに推移。



---

## 3. 2010年3月期 通期業績予想

---



# 2009年3月期 通期業績予想の修正

(単位：億円)

科 目	10/3期		増減	09/3期 通期	増減
	前回予想 <small>5/14公表</small>	今回予想			
売上高	1,540	1,500	△40	1,496	+4
(国内)	1,330	1,320	△10	1,265	+55
(海外)	210	180	△30	231	△51
営業利益	38	33	△5	16	+17
経常利益	28	21	△7	8	+13
当期純利益	16	11	△5	0	+11

[為替レート]	米ドル	ユーロ
上期想定	100円	130円
上期平均	95円	130円
下期想定	90円	130円

# 業績予想の修正（国内売上高の内訳）

（単位：億円）

	10/3期		増減	09/3期 実績	増減
	前回予想 5/14公表	今回予想			
整地機	284	278	△ 6	275	+ 3
栽培機	137	127	△10	133	△ 6
収穫調製機	261	255	△ 6	253	+ 2
<b>農業機械計</b>	<b>682</b>	<b>660</b>	<b>△22</b>	<b>661</b>	<b>△ 1</b>
作業機・部品	304	298	△ 6	295	+ 3
施設工事	70	102	+32	40	+62
農機関連	185	172	△13	177	△ 5
その他	89	88	△ 1	92	△ 4
<b>合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,320</b>	<b>△10</b>	<b>1,265</b>	<b>+55</b>

\* 整地機 : トラクタ、管理機等  
 栽培機 : 田植機、野菜移植機  
 収穫調製機 : コンバイン、乾燥機、籾摺機等

農機関連 : 修理収入、農業用資材等  
 その他 : コイン精米収入、一般商品、（サム電子）等

# 業績予想（海外売上高の内訳）

（単位：億円）

	10/3期		増減	09/3期 実績	増減
	前回予想 <small>5/14公表</small>	今回予想			
北 米	56	41	△15	65	△24
欧 州	81	63	△18	94	△31
アジア	52	54	+ 2	42	+12
（内、中国）	（ 34）	（ 34）	（ -）	（ 19）	（+15）
豪州他	4	4	-	9	△ 5
海外製品計	193	162	△31	210	△48
部品その他	17	18	+ 1	21	△ 3
合 計	210	180	△30	231	△51

※下期想定為替レートは、米ドル：90円、ユーロ：130円

# 業績予想（営業利益の内訳）

（単位：億円）

科 目	10/3期		増減	09/3期 実績	増減
	前回予想 <small>5/14公表</small>	今回予想			
売上高	1,540	1,500	△40	1,496	+ 4
(国内)	1,330	1,320	△10	1,265	+55
(海外)	210	180	△30	231	△51
売上原価	1,053	1,031	△22	1,037	△ 6
売上総利益	487	469	△18	459	+10
販管費	449	436	△13	443	△ 7
営業利益	38	33	△ 5	16	+17

## 4. トピックス

- ・ 発行体格付結果について
- ・ 国内農政の動向について
- ・ 新商品のご紹介



電動ミニ耕うん機  
「エレ菜」と「あすな」

# 発行体格付結果について

格付投資情報センター：R&I 2009年11月13日

## 【格付維持／方向性変更】

名 称	格 付	格付の方向性
発行体格付	BBB（維持）	ネガティブ→安定的

### 【格付理由：抜粋】

- ・国内2割のシェアを握る有力メーカーで、田植機をはじめ稲作用農機に強みを持つ。農家との密接なつながりを背景に国内の顧客基盤は安定している。
- ・在庫の圧縮が進み、有利子負債も徐々に減少している。単位あたり製造原価についてもコントロールされつつある。
- ・一定の収益力・キャッシュフロー創出力を維持できると判断。依然として財務構成には改善の余地が大きいものの、信用力の安定感が高まっている。格付BBBを維持し、格付の方向性をネガティブから安定的に変更した。



# 国内農政の動向

〔民主党政権政策〕

## ○政権政策 Manifesto2009（抜粋）

### 4 地域主権

地域を再生させる政策

- 「戸別所得補償制度」の創設により、**農業を再生し、食料自給率を向上させます。**

## ○政策集INDEX2009（抜粋）

国家戦略目標としての食料自給率向上

食料安全保障の観点から、国家の戦略として「食料自給率目標」を設定。→ **10年後に50%、20年後に60%を達成。**

最終的には「国民が健康に生活していくのに必要な最低限のカロリーは、国内で全て生産する」ことが可能となる**食料自給体制を確立。**

# 国内農政の動向

## 〔食料自給体制の確立〕

### 〔民主党〕

#### ・戸別所得補償制度の創設

食料自給率目標を前提に国等が策定した「生産数量目標」に即して主要農産物（米、麦、大豆など）の生産を行った販売農業者に対して、生産に要する費用（全国平均）と販売価格（全国平均）との差額を交付する。

#### 所得補償

### 〔農林水産省〕

#### ・農業の6次産業化

農業、農村の再生発展のため、農業者が生産物の質的向上や、差別化、加工・販売の一体化に取り組み、農業（1次）と2次産業・3次産業との融合等を通じて、新たな産業や需要（市場）を創出する。

#### 所得拡大

- \*付加価値拡大
- \*地産地消拡大
- \*コストの縮減

6次産業の意味（産業の融合）

1次+2次+3次=6次（1次×2次×3次=6次）

## 農業の再生・発展

### 食料自給体制の確立

#### （食料自給率向上）

- ・品目ごとに食料自給率を1%向上させるために必要な増産量及び追加作付面積

品目	増産量	追加作付面積	増加率
米	34万t	7万ha	4%
米粉米	34万t	5万ha	3%
飼料米	311万t	48万ha	29%
小麦	39万t	9万ha	44%
大豆	26万t	15万ha	99%

#### 作付面積の拡大

今までと違った次元

- ・低価格
- ・低コスト・省エネ
- ・生産性・品質向上
- ・高性能・高耐久・高能率
- ・汎用性

#### 農機が必須

# 新商品のご紹介

〔旗艦製品：Japan シリーズ〕

[2009年12月16日発表・2010年3月発売予定 自脱型7条刈・6条刈コンバイン]



ISEKI



## 製品特徴

共通

HJ7120

HJ6120

エンジン 最大出力 120ps/rpm 約20%UP

自脱型7条刈

作業能率 5.6min/10a 約15%UP (H型)

作業速度 2.0m/s 約14%UP

[2009年11月現在]

業界最大出力

7条刈：日本初

業界最高能率

業界最速

# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。  
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。

2010年3月期第2四半期決算説明会